

外郭団体特別委員会審査から③

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が8月23日と11月1日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の松本のり子議員、林まさひと議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

8月23日 建設局

公益財団法人 神戸市公園緑化協会

コロナ禍で失業しないよう 雇用を守る対応を

——— 松本のり子議員

公益財団法人神戸市公園緑化協会は、神戸総合運動公園や須磨離宮公園、動物に関する教育施設の管理運営やイベント事業、動物園での収益事業などをおこなっています。王子動物園内のレストラン

が耐震不適格という診断の結果、今年度撤去されることになりました。松本議員は、長年動物園のレストランで働いてきた方がコロナ禍の大変な時に失業してしまわないよう雇用関係を守る対応をとるべきと求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：当協会のレストランを新たに建設するのは難しい。雇用されている事業者の方と従業員の間の雇用関係には我々は関与できない。



松本議員：雇用について口を挟まないと言ったが、相手の事業者に対してある程度は言及すべきだ。

常務理事：雇用関係について引き続き守っていただくよう、今後も事業者と話し合いをさせていただきたいと思っている。

その他の質問

●動物科学資料館のイベント運営について
——— 松本のり子議員

神戸市道路公社

幅広い検討で駐車場の 利用促進につとめよ

——— 林まさひと議員

神戸市道路公社は、六甲有料道路などの建設・管理および大倉山や荒田公園などの有料駐車場の管理・運営をおこなっています。林議員は、荒田公園駐車場について、常に周辺が満車になっている神戸大学病院と提携するなどの利用促進を求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：100台ほどのキャパシティがあるが、維持管理費削減のため地下階は平日利用できない運用をしている。団体割引を導入し荒田を展開していく。

林議員：神大病院周辺では小さなコインパーキングはあるものの、満車状態で停められる所を探すのが大変だ。神大と提携し利用者に割引をするなど努力をしてほしい。

常務理事：荒田公園は近隣の商店街なり市場にご利用いただいている。回数券を交付し販促に使われている。



林議員：商店街や市場だけで採算が取ればよいが、絶えず満車に近い状態で利用を維持できるよう幅広い検討をすべきだ。

8月23日 福祉局

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

不安の声聞き、状況に 応じた調査速やかに

——— 松本のり子議員

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会は、市民の福祉活動の振興として、しあわせの村の管理運営や子ども・子育て支援、障がい者・高齢者への支援をおこなっています。介護保険サービスの受給を申請する市民に対して訪問・調査をおこなう「要介護認定調査」は、神戸市からの受託業務です。介護保険法では申請か

ら認定通知まで30日以内に処理することになっていますが、神戸市は平均32.6日もかかっています。松本議員は、家族のいない一人暮らしの方でも不安がなくなるよう、調査員の増員と申請者の状況に応じた速やかな調査を求めました。

答弁ダイジェスト

松本議員：申請中でも暫定での認定で介護保険を使うことは可能だが、もし暫定より低い介護認定がおりた場合は、差額を払わないといけないという心配がある。認定までに1か月を超える人もいる。一日3件だと30日以内にできないのではないかと。

上田副局長：全国平均では政令市の中でも上位だ。30日以内に出すのは物理的に難しい。

松本議員：家族のいない一人暮らしの申請者は通知までの間不安だ。その不安払拭のために他都市のように介護事業所に所属していない調査員などを増員し、申請者の状況に応じてすすめるべきだ。

上田副局長：末期がんの方は特例で急いで調査している。

松本議員：介護を必要とする方はがん患者だけではない。早急に申請者に応じた調査をおこなうべきだ。

8月23日 文化スポーツ局

公益財団法人 神戸市民文化振興財団

頑張るすべてのアーティストのために市独自の支援早急に

——— 松本のり子議員

公益財団法人神戸市民文化振興財団は、スポーツイベント支援事業やワールド記念ホールなどの管理運営などをおこなっています。松本議員は、アーティスト

のためのチャレンジ支援事業が今年の5月で受付が終了していることを指摘し、財団として2回目の支援事業を市に対して強く主張すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

宮道副局長：今の制度を使ったサポートをさせていただきながら、この状況がいつまで続くのか見極め、次の施策を考えていきたい。

松本議員：アドバイザーの紹介だけで

本当にうまくいくのか。やはり実質的な支援金や補助金が必要ではないのか。

宮道副局長：決してアーティストの方々をないがしろにしているということではないが、アーティストの方々も含めて舞台に関する関係者の方々の仕事もつくらなければならない。

松本議員：大人数で頑張っている方への支援も必要だが、一人で頑張っている方のためにも引き続き支援が必要。市に支援を求めるべきだ。

11月1日 企画調整局

公立大学法人 神戸市外国語大学

コロナ禍でも安心して学び、世界に送り出せるよう支援を

——— 林まさひと議員

神戸市外国語大学では、コロナ禍でも経済的な負担で就学を断念するようなことがないように、窓口での相談業務をおこなっています。林議員は、親の減収だけでなく、学生自身もコロナ禍でアルバイトがなくなったり、シフトが減らされて苦勞しながら大学に通っているという

厳しい現状を指摘し、アンケート調査や支援制度の啓発をおこない、優秀な人材を失うことのないように力を尽くすべきと求めました。

答弁ダイジェスト

事務局長：適用できる制度を学生と一緒に相談をしながら、できるだけ経済的な負担で就学を断念するようなことがないように窓口でしっかり対応をしている。

林議員：学生からの申請で減免の相談に乗るとするのは当然だが、事前にアンケートをとるなどして相談に来るようにアクションはとっているのか。



事務局長：アンケートはしていないが、情報が学生に届くように一生懸命取り組んでいる。

林議員：神戸が国際都市としてこの外大をつくったのだから、大変な思いをさせずに優秀な人材を世界に旅立てるように尽力していただきたい。

公益財団法人 阪神・淡路大震災復興基金

高齢者の見守りのために基金活用を

——— 松本のり子議員

——— 林まさひと議員

公益財団法人阪神・淡路大震災復興基金は、阪神・淡路大震災からの復興のための被災者の救済や自立支援、被災地域の復興対策を進め、被災地域を魅力ある地域に再生させることを目的として設立しました。しかし、その目的は概ね達成

されたとして、今年7月31日に解散しました。松本議員は、今ある基金を引き続き一般施策で使えるよう担当部局に要望すべきと求めました。また、林議員は「概ね」という曖昧な言葉で切り捨てるべきではないと厳しく追及しました。

答弁ダイジェスト

辻局長：運用財産の活用は未定だ。復興基金の趣旨も勘案しながら財政当局ともよく相談していきたい。

松本議員：災害公営住宅に住んで20年以上経ち、高齢者の独り暮らしで孤独死もあると聞いている。福祉局は、これま



で公営住宅を活用した「あんしんすこやかルーム」を今年の3月に廃止したが、災害公営住宅での高齢者の見守りのために基金を活用してほしい。

その他の質問

公益財団法人 計算科学振興財団

- フォーカスパソコンの利用促進について
——— 松本のり子議員

神戸都市振興サービス株式会社

- クリエイティブラボ神戸の入居率について
——— 林まさひと議員

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

- 機構への国の関与について
——— 松本のり子議員

ぜひご視聴ください

大かわら鈴子議員と
山本じゅんじ議員が
一般質問に登壇します

日時 12月8日(水) 10時頃から

場所 市議会本会議場

* 質疑時刻がずれる可能性があります。
あらかじめご了承ください。



ご視聴は
こちらから

本会議のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。